

事業運営進行表

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

●事業運営進行表は、事業会計における予算執行等の概況を示すものです。

営業所名 津久井水道営業所

I 事業の概要

津久井水道営業所では、所管区域内における送水、配水設備の工事及び維持管理を行うとともに、水道料金・水道利用加入金等の事業収入及び公共下水道使用料の徴収、給水関係工事の施工並びに量水器の点検等の事務を行っています。

II 収支の状況

(単位：円)

予 算 科 目	年 間 計 画 額	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	累 計
水道事業収益	1,123,502,000	275,285,403	281,436,530	275,792,003	261,722,213	1,094,236,149
営業収益	1,091,196,000	270,710,940	276,033,253	270,160,491	256,156,691	1,073,061,375
給水収益	1,076,912,000	267,282,978	274,397,446	265,932,374	255,635,753	1,063,248,551
給水装置工事収益	8,698,000	2,671,221	1,596,107	1,741,629	508,698	6,517,655
その他営業収益	5,586,000	756,741	39,700	2,486,488	12,240	3,295,169
営業外収益	32,306,000	4,574,463	5,403,277	5,631,512	5,358,539	20,967,791
水道利用加入金	31,188,000	4,536,000	5,221,800	5,351,400	4,833,000	19,942,200
受取利息	0	0	0	0	0	0
一般会計からの補助金	0	0	0	0	0	0
長期前受金戻入	0	0	0	0	0	0
雑収益	1,118,000	38,463	181,477	280,112	525,539	1,025,591
特別利益	0	0	0	0	206,983	206,983
特別利益	0	0	0	0	206,983	206,983
水道事業費用	424,549,175	66,004,491	88,733,865	105,574,391	128,532,553	388,845,300
営業費用	424,142,175	65,951,548	88,723,983	105,574,391	128,506,857	388,756,779
職員費	194,688,175	45,448,861	40,137,255	60,326,523	38,007,243	183,919,882
原水及び浄水費	0	0	0	0	0	0
配水費	96,861,000	10,182,150	24,627,770	25,188,083	46,009,205	106,007,208
給水費	74,061,000	9,135,929	16,678,410	14,220,887	25,399,339	65,434,565
給水装置工事費	643,000	91,180	100,559	73,233	108,585	373,557
業務費	7,717,000	1,088,928	1,788,073	1,416,766	1,987,868	6,281,635
総係費	670,000	4,500	0	784,184	1,036,800	1,825,484
減価償却費	0	0	0	0	0	0
資産減耗費	49,502,000	0	5,391,916	3,564,715	15,957,817	24,914,448
営業外費用	407,000	52,943	9,882	0	25,696	88,521
支払利息	0	0	0	0	0	0
繰延勘定償却費	0	0	0	0	0	0
補助金	0	0	0	0	0	0
消費税及び地方消費税	0	0	0	0	0	0
雑支出	407,000	52,943	9,882	0	25,696	88,521
貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0
水道事業収益－水道事業費用	698,952,825	209,280,912	192,702,665	170,217,612	133,189,660	705,390,849

※ 職員費の一部については、企業庁が実施する各事業に共通する費用として一括して執行を行っており、各事業の当初予算額比率で執行額を按分した金額を含んでいます。

※ 水道事業収益と水道事業費用の差額は、利益の額と一致しません。

(単位：円)

予 算 科 目	年間計画額	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	累 計
資本的収入	5,828,000	0	325,080	313,200	305,640	943,920
企業債	0	0	0	0	0	0
企業債	0	0	0	0	0	0
他会計からの長期借入金	0	0	0	0	0	0
他会計からの長期借入金	0	0	0	0	0	0
固定資産売却代	0	0	0	0	0	0
固定資産売却代	0	0	0	0	0	0
貯蔵品売却代	0	0	0	0	0	0
貯蔵品売却代	0	0	0	0	0	0
分担金及び負担金	5,828,000	0	325,080	313,200	305,640	943,920
分担金及び負担金	5,828,000	0	325,080	313,200	305,640	943,920
雑収入	0	0	0	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0
資本的支出	512,629,000	52,742,367	75,361,615	122,547,494	157,456,996	408,108,472
一般建設改良費	512,629,000	52,742,367	75,361,615	122,547,494	157,456,996	408,108,472
原水及び浄水設備整備費	0	0	0	0	0	0
配水設備整備費	466,631,000	52,742,367	75,361,615	120,129,482	156,572,257	404,805,721
業務設備整備費	45,998,000	0	0	2,418,012	884,739	3,302,751
大口径老朽管更新事業費	0	0	0	0	0	0
水道施設相互融通化整備事業費	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	0	0	0	0	0	0
企業債償還金	0	0	0	0	0	0
他会計からの長期借入金償還金	0	0	0	0	0	0
他会計からの長期借入金償還金	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0
資本的収入－資本的支出	△506,801,000	△52,742,367	△75,036,535	△122,234,294	△157,151,356	△407,164,552

※ 大口径老朽管更新事業費、水道施設相互融通化整備事業費の一部については、企業庁が実施する各事業に共通する費用として一括して執行を行っており、各事業の当初予算額比率で執行額を按分した金額を含んでいます。

Ⅲ 職員配置状況

職員配置状況	区分	4月1日	7月1日	10月1日	1月1日
	常勤職員	21	21	21	21
臨時的任用職員	0	0	0	0	
再任用職員	2	2	2	2	
非常勤職員	0	0	0	0	
計(人)	23	23	23	23	

Ⅳ 事業実施状況

項 目	年間計画	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期	累 計
水道料金調定件数(件)	170,447	43,155	42,301	43,395	42,455	171,306
水道利用加入金調定件数(件)	213	35	35	35	32	137
配水管布設・改良工事完成件数(件)	15	0	3	4	12	19

Ⅴ 事業運営に関する評価

津久井水道営業所長評価	第 1 ・ 四 半 期	第 1 四半期の水道料金調定額および水道利用加入金調定額は計画額を下回ったが、配水管布設・改良工事は 6 件を契約し、耐震化対策等安定給水に向けた事業推進を図っている。
	第 2 ・ 四 半 期	第 2 四半期の水道料金調定額および水道利用加入金調定額は計画額を下回ったが、配水管布設・改良工事は 3 件が竣工・7 件が施工中で、耐震化対策等安定給水に向けた事業推進を図っている。
	第 3 ・ 四 半 期	第 3 四半期の水道料金調定額および水道利用加入金調定額は計画額を下回ったが、配水管布設・改良工事は 7 件が竣工・11 件が施工中で、耐震化対策等安定給水に向けた事業推進を図っている。
	第 4 ・ 四 半 期	第 4 四半期の水道料金調定額および水道利用加入金調定額は計画額を下回ったが、配水管布設・改良工事は 19 件が完成し、耐震化対策等安定給水に向けた事業推進を図っている。
	総合評価	水道料金調定額および水道利用加入金調定額は計画額を下回った。配水管布設・改良工事は年度内に全て竣工し、さらに 4 件の計画外工事を行い、耐震化対策等安定給水に向けた事業推進を図った。